

# 東京海上・グローバルペット関連株式ファンド

## (為替ヘッジなし)

### ＜愛称 ぼちたま＞

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式 (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	2017年6月30日から2027年10月12日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	「東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド」を主要投資対象とします。
	東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	日本を含む世界のペット関連企業の株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への実質投資割合には制限を設けません。</li> <li>外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li> </ul>
	東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資割合には制限を設けません。</li> <li>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。</p> <p>収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。</p>	

## 運用報告書 (全体版)

第16期 (決算日 2021年7月12日)  
第17期 (決算日 2021年10月12日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)＜愛称 ぼちたま＞」は、このたび、第17期の決算を行いましたので、第16期～第17期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016

受付時間：営業日の9時～17時

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。  
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		参考指数	株組入比率	純資産額	
		税金	騰落率				
	円	円	%	%	%	百万円	
8期(2019年7月12日)	10,244	300	4.0	118,799.09	△ 0.1	95.1	551
9期(2019年10月15日)	9,621	0	△ 6.1	117,476.97	△ 1.1	96.8	493
10期(2020年1月14日)	10,253	200	8.6	132,022.57	12.4	96.1	483
11期(2020年4月13日)	9,708	0	△ 5.3	106,977.02	△ 19.0	97.1	421
12期(2020年7月13日)	10,789	1,000	21.4	122,561.83	14.6	96.1	401
13期(2020年10月12日)	11,477	1,000	15.6	131,440.62	7.2	96.0	511
14期(2021年1月12日)	11,838	1,000	11.9	146,582.61	11.5	95.7	764
15期(2021年4月12日)	11,615	1,000	6.6	163,645.15	11.6	97.1	1,147
16期(2021年7月12日)	11,701	1,000	9.3	172,065.82	5.1	94.0	2,095
17期(2021年10月12日)	10,522	1,000	△ 1.5	176,153.02	2.4	97.4	4,138

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		参考指数		株組入比率
		騰落率	騰落率			
第16期	(期首)	円	%	%	%	%
	2021年4月12日	11,615	—	163,645.15	—	97.1
	4月末	12,111	4.3	165,709.98	1.3	97.0
	5月末	12,221	5.2	168,112.15	2.7	97.3
	6月末	12,637	8.8	172,118.43	5.2	98.1
第17期	(期末)					
	2021年7月12日	12,701	9.3	172,065.82	5.1	94.0
	(期首)					
	2021年7月12日	11,701	—	172,065.82	—	94.0
	7月末	11,723	0.2	172,543.43	0.3	97.8
8月末	11,757	0.5	176,132.66	2.4	97.8	
9月末	11,581	△ 1.0	173,235.71	0.7	97.2	
(期末)						
2021年10月12日	11,522	△ 1.5	176,153.02	2.4	97.4	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

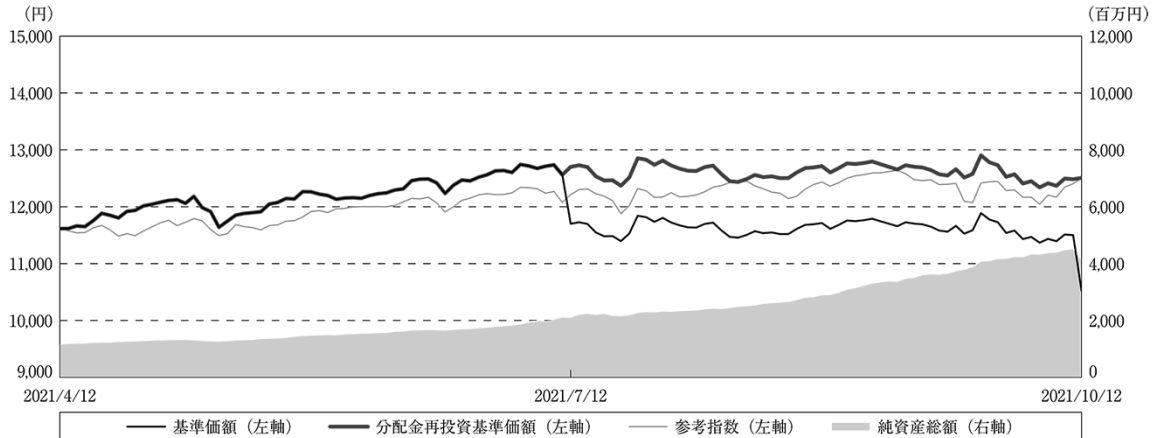
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

参考指数は、MSCI AC ワールド指数 (円換算ベース) です。  
参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準日前日のMSCI AC ワールド指数 (米ドルベース) の値を基準日の対顧客電信売買相場の仲値 (TTM) で委託会社が円換算したものです。

## ○運用経過

(2021年4月13日～2021年10月12日)

## ■作成期間中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首(2021年4月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 参考指数は、MSCI AC ワールド指数(円換算ベース)です。

## ◇基準価額の主な変動要因

## プラス要因

- ・良好な米国経済指標や企業決算の発表
- ・米国上院で超党派による1兆米ドル規模のインフラ投資法案が可決したこと
- ・米国債利回りの上昇などを背景とした円安米ドル高の進行

## マイナス要因

- ・新型コロナウイルスの感染再拡大
- ・中国の大手不動産開発会社のデフォルト(債務不履行)懸念の高まり
- ・米国の債務上限問題

## ■投資環境

### 【世界株式市場】

当作成期初、新型コロナウイルスの感染収束に伴う経済活動再開への期待の高まりや米国雇用統計など良好な経済指標の発表が好感されたことから世界の株式市場は上昇しました。その後、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて世界の株式市場は下落する局面はあったものの、2021年4-6月期の企業決算が総じて事前予想を上回る内容となったことや、米国上院で超党派による1兆米ドル規模のインフラ投資法案が可決されたことなどから、世界の株式市場は上昇基調で推移しました。

当作成期末にかけては、中国の大手不動産開発会社のデフォルト懸念が高まり、中国経済に悪影響を与えるとの見方が広まったほか、米国の債務上限問題や米国債利回りの上昇が投資家のリスク回避姿勢を強め、世界の株式市場は下落したものの、前作成期末対比では上昇しました。

### 【為替市場】

米ドル円為替レートは、円安米ドル高となりました。商品価格が上昇するなどインフレ懸念が高まるなか、FRB（米連邦準備制度理事会）がテーパリング（量的緩和の縮小）の年内着手と2022年中の利上げ開始を示唆したことなどから米国債利回りが上昇し、円安米ドル高が進行しました。その他の通貨については、ユーロ円為替レートはおおむね横ばい、英ポンド円為替レートは円安英ポンド高となりました。

## ■ポートフォリオについて

### ＜東京海上・グローバルペット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）＞

「東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持しました。当ファンドの基準価額（税引前分配金再投資）は、マザーファンドの値動きを反映し、7.7%上昇しました。

### ＜東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド＞

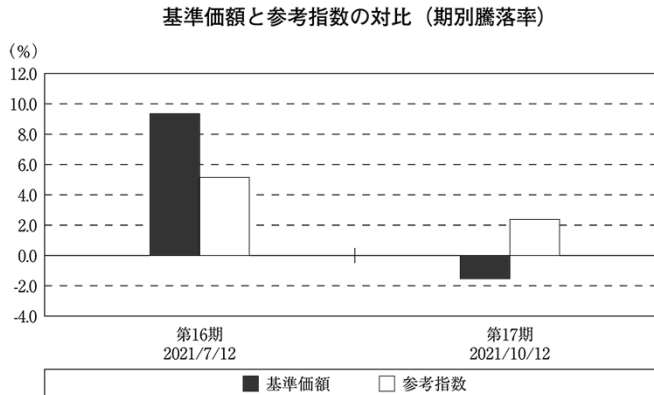
「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」を背景としたペット関連市場拡大の恩恵を受け、長期的に利益成長が期待できると考える銘柄を組み入れました。

セクター別では、ヘルスケア、生活必需品、一般消費財・サービスセクターの銘柄を中心に保有しました。また、ペット保険市場の拡大を期待して、ペット保険会社などの金融セクターの銘柄の保有も継続しました。ヘルスケアセクターについては、ペット用の検査サービス会社や大手医薬品メーカーなどの組入比率を高位に維持したほか、ペット医療市場の高い成長に期待し、スウェーデンのペット向けヘルスケアサービス会社を新規に組み入れました。生活必需品セクターについては、新興国のペット市場拡大の恩恵を受けると考える大手ペットフード会社の組入比率を高位に維持したほか、株価が下落したことで割安感が強まった米国の高級ペットフード会社の組入比率を引き上げました。一般消費財・サービスセクターでは、ペット用品のオンライン販売拡大の恩恵が期待できると考える米国のペット用品オンライン小売会社の組入比率を高位に維持しました。また、複数のプライベートエクイティファンドから買収提案を受け、株価が上昇した欧州のペット用品オンライン小売会社ZOOPLUS AGを売却した一方、デジタル戦略の強化により業績拡大ができると考えた米国のペット用品小売会社を新規に組み入れました。

当作成期は、世界の株式市場が上昇したことに加え、前述のZOOPLUS AGや堅調な企業業績が評価され株価が上昇した米国の動物用医薬品メーカーのZOETIS INCの保有などがプラス寄与したことなどから、基準価額は8.7%上昇しました。

## ■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。  
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI AC ワールド指数（円換算ベース）です。

## ■分配金

当ファンドの収益分配方針に基づき、基準価額の水準や市況動向などを勘案して、次表の通りとしました。なお、収益分配に充てなかった収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

## ◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期	第17期
	2021年4月13日～ 2021年7月12日	2021年7月13日～ 2021年10月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,000 7.873%	1,000 8.679%
当期の収益	500	—
当期の収益以外	500	1,000
翌期繰越分配対象額	1,700	618

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

### ＜東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)＞

「東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持します。

### ＜東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド＞

世界の株式市場は、FRBが2021年内に量的緩和の縮小に向かうことが想定されるなか、中国大手不動産開発会社の経営問題などを背景とした中国経済の悪化懸念や、サプライチェーンの混乱による企業決算への悪影響が意識され、当面は軟調な展開を予想します。中長期的には、新型コロナウイルスワクチン接種の進展による経済活動の本格的な再開と、バイデン米政権による大規模な追加財政支援策が企業業績の拡大を後押しすることが期待され、世界の株式市場は緩やかな上昇基調に転じると想定しています。

ペット関連市場については、「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」に加え、「在宅勤務の拡大」などの新たな生活様式の変化を背景に引き続き成長していくと考えています。

以上のような見通しのもと、引き続き、ペット関連市場拡大の恩恵を受け、長期的に利益成長が期待できると考える銘柄を中心に組み入れを行う方針です。セクター別では、ヘルスケア、生活必需品、一般消費財・サービスセクターの銘柄を中心に組み入れる方針です。その中でも、ペット用品のEコマース(インターネット取引)、ペット医療、ペット保険など、ペット関連市場の中でも高い成長が期待できると考える分野や企業の組入比率を高位に維持する方針です。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2021年4月13日～2021年10月12日)

項 目	第16期～第17期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	101	0.844	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 50)	(0.414)	*委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 50)	(0.414)	*購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2)	(0.017)	*運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	18	0.150	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 18)	(0.150)	*売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.037	(c)有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 4)	(0.037)	*有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.028	(d)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 3)	(0.023)	*保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.005)	*監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	*その他は、信託事務等に要する諸費用
合 計	126	1.059	
作成期間の平均基準価額は、12,005円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

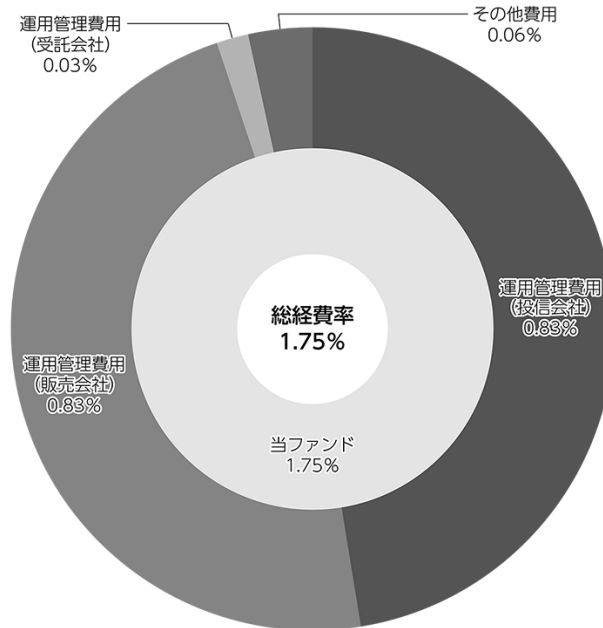
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2021年4月13日～2021年10月12日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第16期～第17期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	1,898,540	4,243,581	606,126	1,347,700

## ○株式売買比率

(2021年4月13日～2021年10月12日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第16期～第17期	
	東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	4,301,295千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	3,463,395千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.24	

(注) (b)は、各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) (c)は、小数点以下2位未満を切り捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年4月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2021年10月12日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第15期末	第17期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	557,671	1,850,085	4,138,456

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2021年10月12日現在)

項 目	第17期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド	4,138,456	90.0
コール・ローン等、その他	457,398	10.0
投資信託財産総額	4,595,854	100.0

(注) 東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(5,049,725千円)の投資信託財産総額(6,145,850千円)に対する比率は82.2%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=113.50円、1ユーロ=131.12円、1英ポンド=154.20円、1スイスフラン=122.32円、1スウェーデンクローナ=12.93円、1ニュージーランドドル=78.66円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第16期末	第17期末
	2021年7月12日現在	2021年10月12日現在
	円	円
(A) 資産	2,289,870,257	4,595,854,616
東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド(評価額)	2,095,007,815	4,138,456,261
未収入金	194,862,442	457,398,355
(B) 負債	194,862,442	457,398,355
未払収益分配金	179,050,713	393,299,918
未払解約金	9,533,836	50,975,884
未払信託報酬	6,237,171	13,037,392
その他未払費用	40,722	85,161
(C) 純資産総額(A-B)	2,095,007,815	4,138,456,261
元本	1,790,507,137	3,932,999,186
次期繰越損益金	304,500,678	205,457,075
(D) 受益権総口数	1,790,507,137口	3,932,999,186口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,701円	10,522円

(注) 当ファンドの第16期首元本額は988,030,535円、第16~17期中追加設定元本額は3,590,811,236円、第16~17期中一部解約元本額は645,842,585円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○損益の状況

項 目	第16期	第17期
	2021年4月13日～ 2021年7月12日	2021年7月13日～ 2021年10月12日
	円	円
(A) 有価証券売買損益	132,257,624	△ 38,620,343
売買益	139,659,869	5,139,264
売買損	△ 7,402,245	△ 43,759,607
(B) 信託報酬等	△ 6,277,893	△ 13,122,553
(C) 当期損益金(A+B)	125,979,731	△ 51,742,896
(D) 前期繰越損益金	40,521,916	61,963,923
(E) 追加信託差損益金	317,049,744	588,535,966
(配当等相当額)	( 247,576,456)	( 573,457,396)
(売買損益相当額)	( 69,473,288)	( 15,078,570)
(F) 計(C+D+E)	483,551,391	598,756,993
(G) 収益分配金	△179,050,713	△393,299,918
次期繰越損益金(F+G)	304,500,678	205,457,075
追加信託差損益金	227,524,387	234,566,039
(配当等相当額)	( 212,299,958)	( 220,594,014)
(売買損益相当額)	( 15,224,429)	( 13,972,025)
分配準備積立金	76,976,291	22,633,932
繰越損益金	-	△ 51,742,896

(注) (A) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	第16期	第17期
	2021年4月13日～ 2021年7月12日	2021年7月13日～ 2021年10月12日
a. 配当等収益(費用控除後)	3,273,348円	0円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	122,706,383円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	317,049,744円	574,563,941円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	40,521,916円	61,963,923円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	483,551,391円	636,527,864円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,700円	1,618円
g. 分配金	179,050,713円	393,299,918円
h. 分配金(1万口当たり)	1,000円	1,000円

## ○分配金のお知らせ

	第16期	第17期
1 万口当たり分配金 (税込み)	1,000円	1,000円

(注) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## ○お知らせ

2021年7月13日付で、信託期間を5年延長し信託終了日を2027年10月12日とする約款変更を行いました。

## 東京海上・グローバルペット関連株式マザーファンド

## 運用報告書 第5期(決算日 2021年10月12日)

(計算期間 2020年10月13日～2021年10月12日)

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド(親投資信託)の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## 東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	純資産総額
	円	騰落率	騰落	中率		
(設定日) 2017年6月30日	10,000	—	102,555.26	—	—	百万円 1,669
1期(2017年10月12日)	10,282	2.8	109,852.07	7.1	95.8	2,111
2期(2018年10月12日)	11,433	11.2	111,308.97	1.3	92.3	943
3期(2019年10月15日)	11,641	1.8	117,476.97	5.5	96.8	647
4期(2020年10月12日)	17,106	46.9	131,440.62	11.9	96.0	661
5期(2021年10月12日)	22,369	30.8	176,153.02	34.0	97.4	5,552

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株組入比率
	円	騰落率	騰落	中率	
(期首) 2020年10月12日	17,106	—	131,440.62	—	96.0
10月末	16,530	△ 3.4	124,116.37	△ 5.6	97.2
11月末	17,497	2.3	138,135.36	5.1	96.9
12月末	18,653	9.0	142,056.03	8.1	97.2
2021年1月末	19,230	12.4	146,088.53	11.1	96.6
2月末	19,431	13.6	151,626.83	15.4	96.1
3月末	20,089	17.4	159,609.28	21.4	95.8
4月末	21,475	25.5	165,709.98	26.1	96.9
5月末	21,700	26.9	168,112.15	27.9	97.1
6月末	22,467	31.3	172,118.43	30.9	97.8
7月末	22,677	32.6	172,543.43	31.3	97.7
8月末	22,776	33.1	176,132.66	34.0	97.7
9月末	22,466	31.3	173,235.71	31.8	97.0
(期末) 2021年10月12日	22,369	30.8	176,153.02	34.0	97.4

(注) 騰落率は期首比です。

参考指数は、MSCI AC ワールド指数(円換算ベース)です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準日前日のMSCI AC ワールド指数(米ドルベース)の値を基準日の対顧客電信売買相場の仲値(TTM)で委託会社が円換算したものです。

## ○運用経過

(2020年10月13日～2021年10月12日)

## ■期中の基準価額等の推移

期首：17,106円

期末：22,369円

騰落率：30.8%

## ◇基準価額の主な変動要因

## プラス要因

- ・新型コロナウイルスワクチンの開発および接種の進展
- ・米国での1.9兆米ドル規模の追加経済対策法案の成立
- ・堅調な2021年4-6月期の企業決算の発表
- ・米国債利回りの上昇などを背景とした円安の進行

## マイナス要因

- ・新型コロナウイルスの感染再拡大
- ・中国の大手不動産開発会社のデフォルト（債務不履行）懸念の高まり
- ・米国の債務上限問題

## ■投資環境

## 【世界株式市場】

期初、米国において追加の経済対策を巡る与野党の協議が難航したことや、欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、世界の株式市場は下落しました。その後、欧米の製薬会社が開発中の新型コロナウイルスワクチンが高い有効性を示したことが好感され世界の株式市場は上昇に転じ、米国で1.9兆米ドル規模の追加経済対策法案が成立したことやワクチン接種の進展を受け、景気回復期待が高まったことなどから、上昇基調で推移しました。

期後半、2021年4-6月期の企業決算が総じて事前予想を上回る内容となったことや、米国上院で超党派による1兆米ドル規模のインフラ投資法案が可決されたことなどから、世界の株式市場は上昇基調を維持しました。

期末にかけては、中国の大手不動産開発会社のデフォルト懸念が高まり、中国経済に悪影響を与えるとの見方が広まったほか、米国の債務上限問題や米国債利回りの上昇が投資家のリスク回避姿勢を強め、世界の株式市場は下落したものの、前期末対比では上昇しました。

## 【為替市場】

米ドル円為替レートは、円安米ドル高となりました。大規模な追加経済対策法案の成立や新型コロナウイルスワクチン接種の進展を受けて景気回復期待が高まったほか、FRB（米連邦準備制度理事会）がテーパリング（量的緩和の縮小）の年内着手と2022年中の利上げ開始を示唆したことなどから米国債利回りが上昇し、円安米ドル高が進行しました。その他の通貨についても、ユーロ円為替レートは円安ユーロ高、英ポンド円為替レートは円安英ポンド高となりました。



(注) 参考指数は、期首（2020年10月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化したものです。

(注) 参考指数は、MSCI AC ワールド指数（円換算ベース）です。

## ■ポートフォリオについて

「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」を背景としたペット関連市場拡大の恩恵を受け、長期的に利益成長が期待できると考える銘柄を組み入れました。

セクター別では、ヘルスケア、生活必需品、一般消費財・サービスセクターの銘柄を中心に保有しました。また、ペット保険市場の拡大を期待して、ペット保険会社などの金融セクターの銘柄の保有も継続しました。ヘルスケアセクターについては、ペット用の検査サービス会社や大手医薬品メーカーなどの組入比率を高位に維持したほか、ペット医療市場の高い成長に期待し、スウェーデンのペット向けヘルスケアサービス会社を新規に組み入れました。生活必需品セクターについては、新興国のペット市場拡大の恩恵を受けると考える大手ペットフード会社の組入比率を高位に維持したほか、堅調な企業業績から株価が上昇したペット用品を扱う米国の小売企業を売却しました。一般消費財・サービスセクターでは、ペット用品のオンライン販売拡大の恩恵が期待できると考える米国のペット用品オンライン小売会社の組入比率を高位に維持しました。また、複数のプライベートエクイティファンドから買収提案を受け、株価が上昇した欧州のペット用品オンライン小売会社ZOOPLUS AGを売却した一方、デジタル戦略の強化により業績拡大ができると考えた米国のペット用品小売会社を新規に組み入れました。

当期は、世界の株式市場が上昇したことに加え、前述のZOOPLUS AGや堅調な企業業績が評価され株価が上昇した米国のペット用検査サービス会社のINDEXX LABORATORIES INCの保有などがプラス寄与しました。

以上の運用の結果、基準価額は30.8%上昇しました。

## ○今後の運用方針

世界の株式市場は、FRBが2021年内に量的緩和の縮小に向かうことが想定されるなか、中国大手不動産開発会社の経営問題などを背景とした中国経済の悪化懸念や、サプライチェーンの混乱による企業決算への悪影響が意識され、当面は軟調な展開を予想します。中長期的には、新型コロナウイルスワクチン接種の進展による経済活動の本格的な再開と、バイデン米政権による大規模な追加財政支援策が企業業績の拡大を後押しすることが期待され、世界の株式市場は緩やかな上昇基調に転じると想定しています。

ペット関連市場については、「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」に加え、「在宅勤務の拡大」などの新たな生活様式の変化を背景に引き続き成長していくと考えています。

以上のような見通しのもと、引き続き、ペット関連市場拡大の恩恵を受け、長期的に利益成長が期待できると考える銘柄を中心に組み入れを行う方針です。セクター別では、ヘルスケア、生活必需品、一般消費財・サービスセクターの銘柄を中心に組み入れる方針です。その中でも、ペット用品のEコマース（インターネット取引）、ペット医療、ペット保険など、ペット関連市場の中でも高い成長が期待できると考える分野や企業の組入比率を高位に維持する方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年10月13日～2021年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 63 (63)	% 0.308 (0.308)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 * 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	16 (16)	0.079 (0.079)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 * 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	11 (11) ( 0 )	0.053 (0.052) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 * 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 * その他は、信託事務等に要する諸費用
合 計	90	0.440	
期中の平均基準価額は、20,415円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



## ○売買及び取引の状況

(2020年10月13日～2021年10月12日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 235	千円 340,877	千株 —	千円 —
	アメリカ	百株 5,312 ( 98)	千米ドル 30,133 ( 25)	百株 373 ( —)	千米ドル 2,963 ( 25)
外	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	126	1,661	34	1,345
	フランス	23	663	—	—
	フィンランド	584	1,767	9	25
国	イギリス	3,279	千英ポンド 2,780	131	千英ポンド 207
	スイス	141	千スイスフラン 1,570	2	千スイスフラン 21
	スウェーデン	670	千スウェーデンクローナ 7,483	—	千スウェーデンクローナ —
	ニュージーランド	410	千ニュージーランドドル 1,261	84	千ニュージーランドドル 284

(注) 金額は受渡代金です。

(注) ( )内は株式分割、移転、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

## ○株式売買比率

(2020年10月13日～2021年10月12日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	5,548,635千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,293,043千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.41

(注) (b)は、各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) (c)は、小数点以下2位未満を切り捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2021年10月12日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
化学 (42.3%)			
ユニ・チャーム	3	33	152,988

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
保険業 (57.7%)			
アニコム ホールディングス	25.7	231.2	208,773
合 計	株 数・金 額	28	264
	銘柄数<比率>	2	2
			<6.5%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AMERSOURCEBERGEN CORP	5	87	1,064	120,863	ヘルスケア機器・サービス	
BALCHEM CORP	6	64	979	111,131	素材	
CENTRAL GARDEN & PET CO	28	335	1,642	186,386	家庭用品・パーソナル用品	
CHEWY INC - CLASS A	52	272	1,671	189,739	小売	
COLGATE-PALMOLIVE CO	21	270	2,046	232,289	家庭用品・パーソナル用品	
COSTCO WHOLESALE CORP	1	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
COVETRUS INC	90	710	1,337	151,822	ヘルスケア機器・サービス	
Dollar General Corp	3	—	—	—	小売	
ELANCO ANIMAL HEALTH INC	49	318	1,045	118,709	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
FRESHPET INC	20	135	1,759	199,744	食品・飲料・タバコ	
GENERAL MILLS INC	21	190	1,172	133,034	食品・飲料・タバコ	
HESKA CORP	8	26	662	75,161	ヘルスケア機器・サービス	
IDEXX LABORATORIES INC	10	48	2,941	333,837	ヘルスケア機器・サービス	
MERCK & CO. INC.	20	151	1,206	136,988	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NEOGEN CORP	27	452	1,855	210,589	ヘルスケア機器・サービス	
ORIGINAL BARK CO/THE	—	725	453	51,511	小売	
PATTERSON COS INC	14	104	339	38,528	ヘルスケア機器・サービス	
PETCO HEALTH AND WELLNESS CO	—	992	2,164	245,675	小売	
PETMED EXPRESS INC	31	13	34	3,877	小売	
PETIQ INC	49	60	148	16,847	ヘルスケア機器・サービス	
JM SMUCKER CO/THE-NEW COM	3	8	97	11,037	食品・飲料・タバコ	
SPECTRUM BRANDS HOLDINGS INC	9	137	1,304	148,077	家庭用品・パーソナル用品	
TARGET CORP	2	—	—	—	小売	

銘柄	株数	金額	当期		業種等	
			株数	金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
TRACTOR SUPPLY COMPANY	18	105	2,032	230,639	小売	
TRUPANION INC	24	209	1,828	207,515	保険	
WALMART INC	3	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
ZOETIS INC	22	162	3,201	363,419	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	536	5,573	30,990	3,517,429	<63.4%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
SYMRISE AG	14	116	1,302	170,797	素材	
ZOOPLUS AG	10	—	—	—	小売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	24	116	1,302	170,797	<3.1%>
(ユーロ…フランス)						
VIRBAC SA	8	31	1,117	146,571	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8	31	1,117	146,571	<2.6%>
(ユーロ…フィンランド)						
MUSTI GROUP OYJ	91	666	2,044	268,090	小売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	91	666	2,044	268,090	<4.8%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	123	813	4,465	585,458	<10.5%>
(イギリス)			千英ポンド			
DECHRA PHARMACEUTICALS PLC	74	219	982	151,558	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CVS GROUP PLC	—	395	951	146,790	ヘルスケア機器・サービス	
PETS AT HOME GROUP PLC	488	3,096	1,436	221,515	小売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	562	3,710	3,371	519,864	<9.4%>
(スイス)			千スイスフラン			
NESTLE SA-REGISTERED	26	165	1,852	226,563	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	26	165	1,852	226,563	<4.1%>
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ			
VIMIAN GROUP AB	—	518	4,141	53,548	ヘルスケア機器・サービス	
SWEDENCARE AB	—	152	1,922	24,861	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	—	670	6,064	78,410	<1.4%>
(ニュージーランド)			千ニュージーランドドル			
EBOS GROUP LTD	102	428	1,478	116,317	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	102	428	1,478	116,317	<2.1%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,349	11,360	—	5,044,044	<90.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

(注) 小計、合計欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 銘柄ID等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しています。

## ○投資信託財産の構成

(2021年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	5,405,806	88.0
コール・ローン等、その他	740,044	12.0
投資信託財産総額	6,145,850	100.0

(注) 当期末における外貨建純資産 (5,049,725千円) の投資信託財産総額 (6,145,850千円) に対する比率は82.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは  
1米ドル=113.50円、1ユーロ=131.12円、1英ポンド=154.20円、1スイスフラン=122.32円、1スウェーデンクローナ=12.93円、  
1ニュージーランドドル=78.66円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年10月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,145,850,252
コール・ローン等	738,908,416
株式(評価額)	5,405,806,132
未収配当金	1,135,704
(B) 負債	593,757,303
未払解約金	593,756,059
未払利息	1,244
(C) 純資産総額(A-B)	5,552,092,949
元本	2,482,095,800
次期繰越損益金	3,069,997,149
(D) 受益権総口数	2,482,095,800口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,369円

(注) 当親ファンドの期首元本額は386,428,180円、期中追加設定元本額は3,359,462,637円、期中一部解約元本額は1,263,795,017円です。

(元本の内訳)

東京海上・グローバルベット関連株式ファンド(為替ヘッジなし) 1,850,085,503円  
東京海上・グローバルベット関連株式ファンド(為替ヘッジあり) 632,010,297円

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○損益の状況 (2020年10月13日～2021年10月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	16,706,034
受取配当金	16,763,262
受取利息	2,522
支払利息	△ 59,750
(B) 有価証券売買損益	372,350,329
売買益	592,650,452
売買損	△ 220,300,123
(C) 保管費用等	△ 1,184,732
(D) 当期損益金(A+B+C)	387,871,631
(E) 前期繰越損益金	274,588,593
(F) 追加信託差損益金	3,864,813,620
(G) 解約差損益金	△1,457,276,695
(H) 計(D+E+F+G)	3,069,997,149
次期繰越損益金(H)	3,069,997,149

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) (G) 解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分です。